

ホームページでの点検結果報告書の公開について

[ホーム](#) > [くらし・安全・環境](#) > [生活と自然環境の保全と改善](#) > [開発規制・生活環境の保全](#) > [かながわの水源環境の保全・再生をめざして](#) > [かながわ水源環境保全・再生の取組の現状と課題（点検結果報告書）](#) > 平成29年度「かながわ水源環境保全・再生の取組の現状と課題」（点検結果報告書）

印刷用ページを表示 掲載日：2019年1月23日

平成29年度「かながわ水源環境保全・再生の取組の現状と課題」（点検結果報告書）

「かながわ水源環境保全・再生の取組の現状と課題」-水源環境保全税による特別対策事業の点検結果報告書-（第3期・平成29年度版）が、平成30年●月●●日に水源環境保全・再生かながわ県民会議座長から、県に提出されました。

報告者

水源環境保全・再生かながわ県民会議 座長 鈴木 雅一 氏（東京大学名誉教授）

報告書

概要版

[平成29年度「かながわ水源環境保全・再生の取組の現状と課題」（概要版）](#) ↓

[このページの先頭へ戻る](#)

実績版

[一括ダウンロード（PDF：8,120KB）](#)

[表紙・目次](#) ↓

I（ローマ数字の1） はじめに ↓

- はじめに
- 第3期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画の概要

II（ローマ数字の2） 11の特別対策事業の点検結果総括 ↓

- 11の特別対策事業の総括（まとめ）
- 事業費実績及び進捗状況一覧

III（ローマ数字の3） 各事業の点検結果 ↓

- 水源の森林づくり事業の推進
- 丹沢大山の保全・再生対策
- 溪野林整備事業
- 間伐材の搬出促進
- 地域水源林整備の支援
- 河川・水路における自然浄化対策の推進
- 地下水保全対策の推進
- 生活排水処理施設の整備促進
- 相模川水系上流域対策の推進
- 水環境モニタリングの実施
- 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み

IV（ローマ数字の4） あとがき ↓

- あとがき
- 県民会議委員の個別意見
- 施策調査専門委員会の検討内容

[このページの先頭へ戻る](#)

資料編

事業モニタリング調査実施状況

⇒

資料ア

県民フォーラム意見について

⇒

資料イ

県民フォーラムチームの活動 [第42回県民フォーラム](#)

市町村別事業実績一覧（市町村事業）

⇒

資料ウ

平成29年度市町村事業実績一覧 ↓

[第5期水源環境保全・再生かながわ県民会議委員名簿](#) ↓

⇒

資料エ

[総合的な評価（中間評価）報告書（平成27年8月）](#) ↓

⇒

資料オ

[このページの先頭へ戻る](#)

[過去の点検結果報告書](#) >

[かながわの水源環境の保全・再生をめざして](#) >

[このページの先頭へ戻る](#)

いいね ツイート

このページに関するお問い合わせ先

環境農政局 緑政部水源環境保全課
 環境農政局緑政部水源環境保全課へのお問い合わせフォーム
 調整グループ

県の重点施策

- ヘルスケア・ニューフロンティア
- ME-BYO 未病の改善
- ROBOT TOWN SAGAMI さがみロボット産業特区
- 県南地域活性化プロジェクト
- かながわスマートエネルギー計画
- 東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
- ラグビーワールドカップ2019
- MAO CULTURE PROJECT KANAGAWA
- ともにまきまき

事業モニタリング調査実施状況

1 森林整備による事業効果の検証**(1) 関連事業**

水源の森林づくり事業、間伐材の搬出促進、地域水源林整備事業

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

人工林における森林整備後の広葉樹の混交状況と下層植生の生育状況を継続的にモニタリングすることにより、森林整備による中期的な質的効果を検証する。

(4) 調査項目

- ① 林分構造(平成 29 年度～)
- ② 下層植生：植被率の変化（平成 19 年度～）
- ③ 光環境：開空度の変化率

(5) 調査方法等

- ・人工林の森林整備実施箇所 21 地点において針広混交林の誘導状況を把握するために、植栽木に加えて樹高 1.5m以上の広葉樹の樹種、直径、樹高を 5 年毎に調査
- ・1.5m以下の下層植生についても植被率や出現種の被度を記録
- ・補足調査として、センサーカメラによるシカの生息状況及び保護柵内外の変化についても調査。

(6) これまでの検証結果等

- ・H29 に林分構造を調査した 7 地点では、スギ、ヒノキの植栽木の密度は 384～892 本/ha、高木性広葉樹の密度は 4～1280 本/ha と地点により大きくばらついた。広葉樹はシロダモやアラカシが多かった。
- ・2 時点で下層植生を比較すると、シカの多寡にかかわらず植被率は増加したが、初回の整備から時間が経過するとほぼ一定になった。(定常状態)

2 土壌保全対策による事業効果の検証①**(1) 関連事業**

丹沢大山の保全再生（土壌保全対策事業）

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

- ・土壌流出防止対策を講じた箇所等において土砂の流出量や植生の回復状況、リターの体積量等を継続的にモニタリングすることにより、土壌流出対策の中期的な質的効果を検証する。
- ・様々な土壌保全対策工の効果を検証し、対策工の改良や施行地の立地や

設置目的に応じた適切な対策工の選定に資する。

(4) 調査項目

平成 17～18 年度に土壌流出防止対策を実施した箇所、土砂侵食量測定施設（侵食土砂の捕捉施設）を 31 カ所設置し、以下の項目を調査。

- ① 土壌侵食量
- ② 林床植生
- ③ 林床合計被覆率：植生及びリターの合計被覆率
- ④ リター堆積量：乾重量ベースの現存量

(5) 調査方法等

- ・毎年度継続して調査
- ・効果を検証するため、無施工の対照区を設置

(6) これまでの検証結果等

- ・対策工施工箇所では対照区の無施工地に比べ、施工 1 年目から全般的に土壌侵食量が軽減。
- ・林床合計被覆率は施工後に増加して 3～4 年で 95～100% となり、それ以降維持された。
- ・蓄積データの解析結果から、林床合計被覆率と土壌侵食量が対応関係にあることがわかり、林床合計被覆率から雨量 1mm あたりの土壌侵食量を推定することが可能となった。
- ・短～中期の検証により各対策工の効果と特色が明らかになり、現場条件や土壌侵食や植生回復など優先する整備目的により、工種の使い分けが可能となった。

3 土壌保全対策による事業効果の検証②

(1) 関連事業

土壌保全対策の推進(中高標高域の自然林の土壌保全対策の実施)

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

水源保全上重要な丹沢大山において、土壌侵食が深刻化している地域において施工された土壌保全事業の効果を、植生調査等を行うことで検証する。

(4) 調査項目

6 地区(堂平地区、蛭ヶ岳地区、地蔵平地区、石棚山地区、熊笹ノ峰地区、表尾根地区)52 地点で、以下の項目を調査。

- ① 植生調査
- ② 光環境調査
- ③ 林床合計被覆率
- ④ 定点写真撮影
- ⑤ 金網筋工の侵食堆積深等測定

⑥ 構造階段の植生調査等

(5) 調査方法等

毎年度継続して調査

(6) これまでの検証結果等

- ・植生保護柵内外で比較すると、多くの地点、柵内の確認種数、林床植被率、植生高が高い傾向が見られた。
- ・林床合計被覆率は多くの地点で 100%を示したが、柵外では、70%~80%程度の地点も見られた。
- ・金網筋工に吸出し防止剤を施工したほうが、堆積深高く、侵食深も抑えられる傾向がみられる。
- ・構造階段の植生調査では、調査枠と比較し、構造階段の隙間から確認された種数は少ない傾向が見られたが、環境省 RL 及び神奈川県 RDB で絶滅危惧Ⅱ類に分類される種が確認される等、構造階段にも植生保護柵のような効果がある可能性が示唆された。
- ・植生保護柵と金網筋工について、対策が実施された年代順に結果を整理し、経年変化を比較した結果、早い段階で対策を実施したほうが、確認種数は増える傾向が見られ、早期の対策実施が効果的である可能性が示唆された。

4 ブナ林等の再生の事業効果の検証

(1) 関連事業

中高標高域ニホンジカ管理捕獲等事業、高標高域自然林土壌保全対策事業

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

- ・衰退要因とされるオゾン等の大気・気象、ブナハバチの発生状況、ブナ林衰退の進行状況等の広域モニタリングを継続。データを集積してブナ林の健全性を評価し、リスクマップを作成することで事業計画の見直しを行う。
- ・対策を講じた箇所において、ギャップの閉鎖に必要な更新木の増加・成長や下層植生の回復状況を把握する。
- ・併せて、植生回復と土壌環境の改善によるブナハバチ繭密度の減少、オゾンの流入量の減少等、期待される事象変化を検証する。

(4) 調査項目とその内容

<衰退要因及び衰退状況モニタリング>

- ①大気・気象観測：高標高4地点でのオゾン濃度、雨量、風向風速、気温、地温、日照等の常時観測
- ②ブナハバチ：成虫捕獲による発生調査、繭密度調査ブナ食害による健全度調査

<事業効果モニタリング>

- ①天然更新:ギャップの大きさの異なる7地点で高木性樹種の稚幼樹の樹種名、樹高、密度
- ②人工造林(植栽):7地点のうちの3地点で生残と樹高

- ③林床植生：全体の植被率、出現種ごとの被度、群度、植生とリターを合わせた被覆率
- ④光環境：開空度

(5) これまでの検証結果等

＜衰退要因及び衰退状況モニタリング＞

- ・ギャップの大きさと天然更新のしやすさについて、開空度から関係を導き出すことができた。
- ・天然更新等の試験結果や、大気汚染(オゾン)、水ストレス、ブナハバチの個別影響や複合作用を裏付ける知見が集積し、衰退機構の解明が進められ、それを踏まえた再生技術開発を行った。
- ・各種モニタリングデータの解析によりブナ林の衰退リスク評価を行い、事業を支援するリスクマップを作成した。

＜事業効果モニタリング＞

- ・天然更新では、ギャップの大きさにより更新樹種が異なり、大ギャップではニシキウツギやマユミなどの小高木種が優占して、小ギャップではイヌシデやカエデ類の高木種が優占しており、いずれも植生保護柵内で樹高成長していた。
- ・植栽試験では、ほとんどの樹種の生存率は5年経過時点で70%を超えており、樹高成長は緩やかであった。

※ これらの検証結果を踏まえた再生の方針は、「丹沢ブナ林再生指針」(H29.6)に掲載

5 中高標高域におけるシカ管理の事業効果と植生の回復状況の検証

(1) 関連事業

丹沢大山の保全再生（中標高高域におけるシカ管理の推進）

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

シカの生息密度調査、生息数推定、植生の回復状況等のモニタリングを行い、シカ個体数の低減状況と下層植生の回復状況を検証する。

(4) 調査項目、方法

シカ管理捕獲（県猟友会・レゾジャー）の効果検証を行うために、糞塊法、区画法等の委託調査（野生動物コンサル）を実施し、このデータに基づき階層ベイズ法によるシカの個体数の推計とその動向の把握を行う。また、これによる下層植生の回復状況調査を行う。

以下は、調査内容。

- ① 糞塊法（糞塊数のルート調査）
- ② 区画法（区域を設定した目視調査）
- ③ ベイズ推計（上記①、②等のデータによる個体群の数推移シミュレーション）
- ④ 植生定点調査（被度、種数等を設置した植生保護柵内外で比較）

(5) これまでの検証結果等

- ① 糞塊法：計画対象区域のシカ生息状況を広域に比較するのに適しており、

2番事業のシカ捕獲地で、シカ減少傾向が確認されている。

- ② 区画法：主なシカ生息地での目視調査であり、2番事業のシカ捕獲地で、シカ減少傾向が確認されている。
- ③ ベイズ推計：2番事業のシカ捕獲対象地としている丹沢の中高標高域では、継続したシカ個体群の減少傾向が確認されている
- ④ 植生定点調査：H28年度までの過去5年間の比較では、55地点の4割で植被率が増加した。一方、56地点の柵内外の比較では、7割の地点で植被率は柵内で10%以上高かった。

6 溪畔林整備による事業効果の検証

(1) 関連事業

溪畔林整備事業

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

- ・ 溪畔林整備後の下層植生の生育状況等を継続的にモニタリングすることにより、溪畔林整備事業による初・中期の整備効果を検証する。
- ・ 事業の検証結果に基づき初期の整備技術を確立させ、私有林での溪畔林整備に資する。

(4) 調査項目

- ① 林分構造：樹高 1.5m 以上の樹種、胸高直径、密度、樹高(階層)、渓流域のかく乱の状況
- ② 林床植生：全体植被率、出現種毎の被度・群度
- ③ 更新木：天然更新木の樹種・樹高、植栽木
- ④ 光環境：開空度の変化率

(5) 調査方法等

溪畔林整備を行う森林毎に調査区を設定し、事前調査及び施工後、3～5年毎に調査を実施。

(6) これまでの検証結果等

- ・ 定性間伐と植生保護柵を組み合わせることで、林床植生の回復効果が高まる傾向が確認された。
- ・ 平成19年度以降、2期10年間、溪畔林のモデル林を整備し効果を検証してきた結果、溪畔林の初期の整備手法が確立し、「溪畔林の手引き」としてとりまとめた。

7 河川・水路の自然浄化対策による事業効果の検証

(1) 関連事業

河川・水路の自然浄化対策事業

(2) 所管

水源環境保全課

(3) 調査のねらい

整備を実施した河川・水路において水質や動植物の状況を定期的にモニタリングすることにより、河川・水路整備による中期的な質的効果を検証する。

(4) 調査項目

- ①水質：pH, BOD, SS, DO 等
- ②動植物：各種類の動植物の生息状況

(5) 調査方法等

- ・整備を実施した河川・水路において、継続して調査(整備後2年間は必須)
- ・水質については整備箇所の上流で調査

(6) これまでの検証結果等

- ①水質については主に生物化学的酸素必要量(BOD)で効果検証を行っており、整備後もA類型相当の値を保っている。
- ②動植物については、調査を実施している一部の施工地で整備前と比較して種類の増加、生息数の増加がみられている。

8 地下水保全対策による事業効果の検証

(1) 関連事業

地下水保全対策事業

(2) 所管

水源環境保全課

(3) 調査のねらい

＜地下水汚染対策のモニタリング＞

秦野市において、浄化装置を設置して地下水に含まれている有機塩素系化学物質の浄化を行っているため、その中期的な質的効果を検証する。

＜地下水モニタリング(事業)＞

地下水質、地下水位のモニタリングを行い、地下水を水道水源として利用している地域の地下水の状況を監視することで、良質で安定的な地下水の確保に資する。

(4) 調査項目、方法

＜地下水汚染対策のモニタリング＞

調査項目：有機塩素系化学物質
調査方法等：毎年度継続して調査

＜地下水モニタリング(事業)＞

調査項目：地下水位、地下水質
調査方法：毎年度継続して調査

(5) これまでの検証結果等

＜地下水汚染対策のモニタリング＞

浄化装置の設置後、有機塩素系化学物質であるテトラクロロエチレンの

濃度は減少している。

<地下水モニタリング（事業）>

- ・地下水位は、地下水利用に問題のない水位レベルを維持している。
- ・地下水質のモニタリングを行っているうち3市において、汚染が見つかっている。

県民フォーラム意見について（第35回～第38回）

1 はじめに

「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」（以下「県民フォーラム」という。）は、水源環境保全・再生の取組について、県民の意見を幅広く収集するとともに、水源環境保全・再生に係る情報の提供・発信等を目的に「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」という。）が開催するものである。

第34回県民フォーラムまでに収集した県民フォーラム意見については、これまでに取りまとめた上、県に対して報告を行い、県から報告に対する回答を受けている。

このたび、平成29年度までに実施した第38回県民フォーラム分までに収集した県民フォーラム意見について取りまとめたので、県に対して報告するものである。

なお、第28回県民フォーラムより、もり・みずカフェを単独開催ではなく、他団体が主催するイベントに出展し開催するなど、新たな開催手法も取り入れることで、効率的な県民意見の集約や情報発信に努めている。

2 県民フォーラム（第35回～第38回）の結果概要

第三十五回 (もり・みずカフェ)	日時	平成29年5月27日（土）10:30～17:30
	会場	横浜そごうB2階「新都市プラザ」（横浜市西区高島2-18-1） ※同日開催「2017かながわ家づくりフェア」で実施。
	出席者	県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 小笠原 多加子、上宮田 幸恵、倉橋 満知子、西 寿子、 森本 正信 コミュニケーションチーム 増田 清美
	参加者数	757名
	内容	・水源施策の紹介、アンケートの実施 ・パネルの展示 ・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等） ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・しずくちゃんグッズ（風船、缶バッジ等）の配布 ・飲料水（ペットボトル）の配布 等
第三十六回 (もり・みずカフェ)	日時	平成29年8月5日（土）10:00～14:00
	会場	やどりき水源林（足柄上郡松田町寄） ※同日開催「第16回やどりき水源林のつどい（主催：県民との協働による森林づくり実行委員会）」で実施
	出席者	県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 相川 健志、小笠原 多加子、上宮田 幸恵、 佐藤 恭平、豊田 直之、西 寿子、森本 正信 コミュニケーションチーム 高橋 貴子、滝澤 洋子、増田 清美

	参加者数	285名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水源施策の紹介、アンケートの実施 ・パネルの展示 ・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」、関係課リーフレット等） ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・しずくちゃんグッズ（風船、ウェットティッシュ等）の配布 ・カートカン（国産材を使用した紙製飲料缶）の配布 等
第三十七回 (もり・みずカフェ)	日時	平成29年9月23日（土）、24日（日）各日10:00～17:00
	会場	<p>アピタ長津田店（横浜市緑区長津田みなみ台4-7-1）</p> <p>※同日開催「平成29年度 かながわ水源地域キャンペーン」で実施。</p>
	出席者	<p>県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む）</p> <p>相川 健志、小笠原 多加子、上宮田 幸恵、倉橋 満知子、</p> <p>豊田 直之、西 寿子、森本 正信</p> <p>コミュニケーションチーム 高橋 貴子、増田 清美</p>
	参加者数	920名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズ・アンケートの実施（クイズ回答者へは記念品を贈呈） ・水源施策紹介パネル、剥製（シカ）の展示 ・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等） ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・しずくちゃんグッズ（風船、缶バッチ等）の配布
第三十八回	テーマ	おしえて・話して！かながわの森と水 in 相模原
	日時	平成29年12月16日（土）13:00～14:30
	会場	ユニコムプラザさがみはら（相模原市南区相模大野3-3-2）
	出席者	<p>県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む）</p> <p>相川 健志、小笠原 多加子、上宮田 幸恵、倉橋 満知子、</p> <p>豊田 直之、西 寿子、森本 正信</p> <p>コミュニケーションチーム</p> <p>川島 範子、高橋 貴子、増田 清美</p>
	参加者数	127名
	内容	<p>(1) 主催者あいさつ 水源環境保全・再生かながわ県民会議 森本 正信 委員 (司会：水源環境保全・再生かながわ県民会議委員 上宮田 幸恵)</p> <p>(2) ミニ講演（講演30分×2名）</p> <p>①渡辺 豊博 氏（特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島 専務理事） 講演テーマ『市民力を結集した「水の都・三島」の水辺再生活動』 ドブ川だった源兵衛川をホテルが乱舞する清流に再生したノウハウを伝授。</p> <p>②川島 範子 氏（特定非営利活動法人 小田原山盛の会 副理事長） 美しく健全なふるさとの森を、市民調査、対策で次世代に残そう。</p>

	<p>(3) 水源環境保全・再生の取組の紹介 (15分) 水源環境保全課 調整グループ 石郷岡グループリーダー</p> <p>(4) 質疑応答 (10分)</p> <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源環境保全・再生施策等の紹介パネルの展示 ・剥製(シカ)の剥製の展示 ・各種広報資料の配架(リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう! かながわの森と水」等) ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・しずくちゃんグッズ(風船、しずくちゃんカード)の配布 <p>[その他] 会場ロビー部分では市民事業団体の活動紹介等を実施</p>
--	--

3 県民フォーラム意見

第35回～第38回県民フォーラムにおけるアンケート集計結果及び個々の意見内容は、4ページ～14ページのとおりである。

4 県民フォーラム意見の傾向について(第35回～第38回)

県民フォーラムで寄せられた意見について、「森林整備」、「水源環境への負荷軽減」、「情報提供・普及啓発」、「市民活動支援」、「県外対策」、「水源地域の活性化等」、「その他」の7項目により分類した。結果は下記表のとおりである。

水源環境保全・再生施策についての「森林整備」、「水源環境への負荷軽減」、「情報提供・普及啓発」、「市民活動支援」、「その他」に関する意見が寄せられた。主な意見としては、「色々なイベントで広く知らせる事が大切だと思います。」「県民の意識向上の為に継続してほしい。」等が寄せられた。なお、「その他」の項目には県民フォーラムの感想や運営に関する意見等を分類した。

第35回～第38回県民フォーラム 項目別意見件数

項目		意見件数				
		第35回	第36回	第37回	第38回	計
1	森林整備	4件	2件	4件	2件	12件
2	水源環境への負荷軽減	2件	2件	0件	1件	5件
3	情報提供・普及啓発	11件	14件	0件	3件	28件
4	市民活動支援	0件	0件	0件	1件	1件
5	県外対策	0件	0件	0件	0件	0件
6	水源地域の活性化等	0件	0件	0件	0件	0件
7	その他	67件	42件	67件	4件	180件
計		84件	60件	71件	11件	226件

第35回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	森林整備	神奈川県に住んでいると、水不足の時でもきちんと水が確保出来ていた。きれいな森林と水源は守ってもらいたいと思います。花粉症で困っているので杉の間引きの等を推進をしてもらいたい。
2		森林保全も必要ではないか。
3		今ある森を伐採しないでください。
4		丹沢山系の森の再生をお願いします。
5	水環境への 負荷軽減	釣り仲間でゴミ拾いをしています。資源を大切に。
6		川をきれいにする取組が少ないように思います。
7	情報提供・普及啓発	保全をもっとPRした方が良い
8		子供への研修をやる
9		水の豊かな国において、その重要性は認識しにくいですが、グローバルに考えると子供達には伝えておくべき事だと思う。
10		個人的に森林と水のめぐりの相互作用に関心があり、今回はこのようなイベントを拝見してうれしく思います。企業にしる非営利団体にしる森や水を循環させる為の活動を広く知ってもらい、活動の幅が広がる事を願っております。
11		県内の主要駅の一部を借りて認知度の拡大や他県(隣接都県市)にも出展して全国で「日本の緑を守る活動」をし、未来に緑を残せるようにして欲しい。
12		もっと市民が参加出来るイベントなどをすると良いと思う。
13		森林が無くなってしまったり、温暖化で水がなくなっていくのが、心配です。もっとPRしたほうが良いと思います。
14		行政がPRをもう少し、一般の人にも出来る事を広報してくれないと、私たちは協力したくても良く分かりません。
15		広報等イベントを通じてもっと広く皆にアピールしたら良いのでは。
16		広報活動が浸透していないと感じております。水は全ての命の根源です。
17		県のみではなく、他県とも協力して行った方が良いと思う。
18	その他	おおいにやってもらいたい
19		今回のお話で初めて水源環境保全税を知りました。9階にも行ってきます。
20		良い取組は今後も継続して欲しいと思います。
21		森林の育成、水資源の確保は大切ですので、今後も活動を進めて頂きたいと思います。
22		これからも安心安全な水の再生に取り組んで頂きたい。
23		道志村の広報をよく見ますが、県の取組はあまり知らなかったので今回の展示を見られて良かったです。
24		県内の木材を使用して家を建てると良いと思います。
25		自然を残していく

番号	項目	記載内容
26	その他	神奈川(横浜)は都市の規模(人口の多さ)の割りに緑が多いと思う。皆が大事に思う心を忘れずに過ごせたら良い。水は大事ですから。
27		外国人が水源を購入するという話をニュースで見ました。安心安全の水を守って欲しいと思います。水道水は美味しいです。
28		無花粉杉をこれから増やしていったら良いと思った。
29		水と木の関連が知りたい。水不足知らずですごい。
30		横浜市は道志川の山林を大切にしている運動があると何かで知っていたが、県水道の取組は知らない。
31		森林資源は大切であることがより理解出来た。
32		保安林の育成
33		森や林の手入れも大切だと思います。
34		環境を守り、きれいな水を提供してほしい。
35		「道志の水」がコンビニやスーパー等、入手し易い場所で売っているとよい。小田急線では箱根のミネラルウォーターを沿線内自販機で売っており手軽に飲めます。
36		下水道管の仕組みが知りたい。
37		神奈川の水は美味しいと聞きます。水は大切にしたいと思います。
38		はまっごどうしを愛用しています。
39		水はこれからも大切だと思う。
40		神奈川県は他県に比べ水資源に困らず、保全に感謝している。
41		神奈川県は他の地方に比べて水に恵まれていると思います。その水源は大切にしたいと思います。
42		神奈川の水源である丹沢、相模川を守る活動はとても重大であると共に知識を広めていくべきだと感じました。
43		水の大切さは日々感じています。神奈川の美味しい水を維持していく為にも環境を守ることは必要です。
44		横浜市西区に住んでいますが、山梨の水ではないのを知ってちょっとガックリ
45		これからも水を大切に使用して美味しい水を飲む幸せを再確認したいと思います。
46		水は大切なので、安全安心な飲料水を確保してください。
47		水は人の身体にとって大事なかけがえのない資源だから、大事に清らかに守って活用していくべきだと思います。
48		日常生活に必要な水なので、安心の出来る限り取り組んで欲しいと思います。
49		水の大切さを勉強出来てうれしいです。
50		他県の水不足を見ていると、いかに大切なのかを実感している。また水の資源を大切にしなければ後に続く人の為にも大事にしたいと思う。
51		水源環境税を取るのはいいが、非納税者からも何らかの形で取ってほしい。課税者に何でも負担させるのは考えてほしい。
52		水は「生命」を支える大切な資源、自然環境に左右される活動とは思いますが、今後とも県の取組みの発展を願っています。
53		税金を無駄にしない運営をしてもらいたい。

番号	項目	記載内容
54		さらに拡充してください
55		水資源の保全・再生は重要だと思う。長期に渡り取組が必要ですぐに改善出来ないの継続して取組んで欲しいと思う。ただし財源については工夫すべきだと思う。
56		①890円の根拠の計算はどうなっているのか②事業内容があるなら詳しく知りたい③NPO団体はどのくらいあるのか
57		大事な問題なので、これからも更に発展して行って欲しい。
58		積極的に継続すべきです。自然を守るべきです。
59		水源林保全の大切さが良く分かりました。直接関係することは出来ませんが、一人当たり890円で協力出来ていたのですね。
60		継続出来るようにすべき
61		住みよい環境づくりの為に自身にも出来る事を行っていきたいと感じました。
62		学校の授業でそこまで深くやっていないので、調べてみたいと思った。
63		日常的には水源環境に接していないので、利便性ばかり気になりますが、県内にも大切な自然があり、県民として意識を高める良い機会となりました。
64		自分自身で係わらないと思います。
65		9階のイベントにも参加して参考にしたいと思います。
66		この様なイベントスペースに立ち寄った事がきっかけで自然の大切さを感じる事が出来た。
67	その他	木の香りが良かった
68		ダム(宮ヶ瀬ダム等)を見学してみたいです。HP広報をお願いします。
69		今後も今日のようなイベントの開催を希望します。
70		パネルを見て関心を持ちました。
71		今回のイベントで森と水との関わりが分かりやすい展示だった。また、県が無花粉杉の取組をやっていた事を初めて知った。
72		しずくちゃんが可愛かった。PRとして良いと思います。
73		ご苦労さまです。有難うございます。
74		動物たちを守ってください。
75		マンションで浄水機を使っているのですが、水が美味しくないのです。井戸水の美味しい味を飲みたい。
76		もっと歴史を知ること
77		日本の水はとてもきれいで浄水機はいらないと思います。
78		一般の人もっと関心を持つ必要を感じています。生水を飲めるのは日本で、外国に行くと実感しています。
79		成長の森も10年近く経ち大きく育った木々が森になっていくのが楽しみです。
80		自然はすぐに戻せません、大切に作る心を持つように。
81		道志川の事を分かる様に書いた方が良い？
82		やどりき水源林で行われるイベントを楽しみにしています。

番号	項目	記載内容
83	その他	道志川も横浜の水源になっているのでは？
84		外国の資産家が水源の土地を買いあさっていると聞きました。税金を使っても美味しくて安心出来る(東京の水とは味が全然違ったので)水の為にこれからも活動してください。

第36回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容	
1	森林整備	森林保全事業に取り組む地元へ資金を投資してください。森林育成は1年では出来ません。100年の計画で取り組んでください。	
2		水源の周りを整備し、国や地方でしっかり売らないように法律を作り守るべきだと思います。	
3	水源環境の 負荷軽減	この間学校の「総合」の授業で多摩川の勉強をして、汚いと言う事が分かったので水をきれいにしたいです。	
4		水は循環するので、下水整備もしっかりして、きれいな水・川・海を守ってほしい。石鹸を使う事をPRしてはどうか。	
5	情報提供・普及啓発	子供の学校ではゴミの勉強はしていますが、水源環境の保全・再生の授業をもっとして欲しいです。子供たちが学ぶ事により将来につながると思います。	
6		色々なイベントで広く知らせる事が大切だと思います。学校教育にもたくさん取り入れて頂きたいと思います。	
7		県民に広くPRし、関心を持ってもらう	
8		小学校で学ぶ時に森にも連れて行きたい。また、話をしてくれる人も来て欲しい。そういう活動を取り入れたい。	
9		納税者が協力していく為の理解を深めるイベント等を身近で行って欲しい。	
10		キャンペーンをみんなでやる	
11		一般の県民にもっと広くPRが必要ではないか？	
12		イベント等で広めていってください。	
13		絵で見えて分かる、字少なめのパネルがあっても良いと思います。	
14		県のたよりに細かく載せて欲しい。	
15		子供達を中心に環境体験が出来る環境づくりが必要	
16		情報を得られる機会が増えるといいなと思いました。	
17		神奈川県森林行政の拡充発表を期待しています。もっとPRを！	
18		イベント参加で水源の事が分かりました。もっとイベントが増えると嬉しいです。	
19		その他	少しは知っていたけれど、改めて川や森にふれ合える事でまたこの環境を大切にしていきたいと思いました。
20			木材の利用を色々考えてほしい
21			荒れた森林への対応(手入れ等)すすめて頂きたい。
22			私達は地元に住んでいます。山・木を大切に思っています。
23	水を守っているのは「やどりきの山の水」です。		
24	きれいな水であって欲しい		
25	全県民が関心を持ち、水の大切さを認識すべき		
26	水を無駄にしないように気をつけたい		
27	これからも美味しい水を飲むために頑張ってください。		

番号	項目	記載内容
28		未来の子供達に良い水を残してあげたい
29		水源林を保全するため受益者から税を頂き地元の保全・再生の為に活用してください。
30		これからも同じ事をすればいいと思う
31		県の取組が少し分かって良かった
32		環境を守るためには税を私達が負担していくことが大切だと思いました。
33		大切な事なので、税金を使うべき所だと思います。
34		良い取組だと思っています。頑張ってください。
35		引き続き計画的な取組みをお願いします。
36		素晴らしい取組だと思います。
37		この取組をずっと続けて欲しいと思います。
38		今後も拡大し取組んだ方が良い
39		これから益々重要になる時代が来ます。もっともっと取組んでください。
40		渇水に対して強化する様、税金を使って欲しい。
41		勉強になりました
42		楽しかった
43	その他	今回のような参加型の体験はとても面白かったです。
44		学校でダムを見に行った時そんなに詳しく知らなかったのでびっくりした。
45		また来たいです。
46		再認識するよいきっかけになった。
47		本日の様なイベントを通して、もっと一般の方々に関心を持って頂けたらいいと思います。
48		今回この様なイベントに参加して少し理解出来ました。取組を増やしていくと良いと思います。
49		もっと沢山のの人にイベントを体験してもらおうと良いと思う。
50		今まで知識が無かったのですが、今回少しでも知ることができ良かったです。
51		イベントを通して子供も考えるきっかけとなりました。
52		説明がとても良くわかりました。
53		こういったイベントは大変良いと思います。
54		みんなで応援しましょう
55		日頃の活動については、よく理解しています。
56		手厚く保護すべき
57		高校生の頃ここにキャンプに来ており、飲水の源水であることも承知しています。石鹸を使う暮らしをしています。
58		「成長の森」事業はとてもよい取組だと思います。

番号	項目	記載内容
59	その	子供たちが自然の中で楽しく遊べる環境づくりは、是非推進してください。
60	他	私達が知らない事が分かってうれしいです。

第37回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	情報提供・普及啓発	この様な活動をどんどんPRして頂けると大人も勉強になるので続けて欲しい。
2		こちらからもどんどん発信してください。
3		登山、観光資源と合わせたPRも良いと思う。
4		皆に知らせる事は大切、パンフが沢山あり良いと思う。
5	その他	水源の事が分かった、知る機会があつて良かった。
6		広報活動に色々努力されているなどと思った。
7		環境の大切さを知った。
8		詳しく説明して下さり、勉強になった。イベントで自然との関わりを知れるのは良いと思う。
9		スタッフの人がとても親切でよかった。
10		ブースが凄く賑わっていて、水の事が学べるのは良いですね。
11		森林保全の必要性が分かった。
12		森づくりボランティアの鹿の駆除やボランティア活動の話に興味を湧いた。
13		しずくちゃん可愛かった、水道水の為に頑張ってくれている事がわかった。
14		今飲んでいる水が20年前に富士山に降ったものだと初めて知りました。
15		勉強になった、知っているようで知らなかった。
16		神奈川の「水」に対して理解が深まった。
17		大切な資源を皆で守って良くなる事を知る機会になるのでは。
18		大都市圏にもかかわらず、神奈川が「水」に恵まれている事に感謝。
19		自分の住むところの浄水場が知れた。
20		Q5のアンケート欄(超過課税)の負担が分かり良かった。
21		水に対して納税している事を初めて知りました、植栽にも参加したいです。
22		外国に土地を買収されないようにしてほしい。
23		超過課税の件を含めて色々知る事ができました。
24		神奈川県が取組について知る事が出来、参加して良かったです。
25		子供達が興味を持てるイベントにしてくれると勉強になると思う。
26		もっと沢山の県民に知らせてもよいイベントだと思います。
27		ダムの放水をもっとアピールすれば良い。
28		県民の意識向上の為に継続してほしい。

番号	項目	記載内容
29	その他	良い試みだと思う
30		子供向けに良かった
31		身近な内容で面白かった
32		パンフレットが多くあって後でじっくり目を通します。
33		興味深いイベントだった
34		工作や獅子舞、お囃子等、子供も楽しませてもらいました。
35		色々な企画が無料でやっていて楽しい
36		ゆるキャラがいっぱいで楽しい
37		パネルの説明が分かりやすかった
38		年2回開催して欲しい
39		最近気軽に行けなくなってしまったので、近くでこの様なイベントがあると助かります。
40		お面を貰ったりして、子供が喜んでいました。
41		楽しくなかった
42		手形を貰ったので行ってみます
43		湖に行ってみようと思う
44		学校のテストの復習になった
45		先日、4年生の子供が愛川に宿泊学習に行き、このイベントに大喜びでした。
46		水源の事が分かった、知る機会があって良かった
47		勉強になった、為になった
48		水源のことが分かりました
49		富士山からの水だと初めて知った。良い水を飲めているのだと思った。
50		一つの川でたくさんの地域の水を供給できるのはすごいと思った。
51		横須賀は両方の川から貰っていて大変だなと思った。
52		横浜市は山梨県の道志川から水を頂いていると聞きました。
53		相模川→富士山に繋がるとは初耳でした。
54		山梨の緑を守らなくてはいけないと初めてしりました。
55		水源は芦ノ湖だと思っていた。
56		最源流を考えていませんでした。
57		記念樹と植林活動の話が面白かった。
58		県の取組を分かりやすく学ばせてもらえて良かった。
59		しずくちゃんクイズが難しかった

番号	項目	記載内容
60	その他	クイズが子供には難しく、ダジャレの様なヒントがあるとわかりやすいかなと思った。
61		面白かった、楽しかった
62		クイズが難しかったけど、教えてくれる人がいて分かった。
63		しずくちゃんが可愛かった、お友達になりたい
64		地図で見ると分かりやすかった
65		学校で習ったので復習になった
66		芦ノ湖の水は何処へ？
67		宮ヶ瀬ダムの水と道志村からの水は横浜市内それぞれ何処へ？
68		宮ヶ瀬ダムと道志川の選別は？
69		色々なクイズがあって難しかったけど、良かった。またクイズに答えたい。
70		意外と知らない事ばかりでした
71		参考になりました

第38回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	森林整備	水源環境保全や鳥獣被害対応等、各自治体単位で取組んでいるように思いますが、自治体の連携した地域特性に応じた対応が必要なのではないでしょうか。
2		市民事業への補助金も必要ですが、その事業を効果的に実施する人材の育成が、より必要ではないでしょうか。
3	水環境への負荷軽減	水田の浸透性殺虫剤、特にフィプロニルは魚毒性有り、水生生物への影響が大きいが、県内で広く使われている。特に、苗にまかれているところもあるので、農薬の切りかえ、中止などについて行政の対応を望みます。
4	情報提供・普及	箱根方面のシカ被害に対する見学会の開催を検討して下さい。
5		地域の問題を、たてわりでバラバラでやるのは非効率。水源環境税の限界を明らかにしてほしい。
6		国の税との関わりを明確にしてほしい。
7	市民支援活動	県民フォーラムとあわせ、市民事業交流会を継続して行うことができることを希望します。
8	その他	高老者が多し。若年の参加を望む。
9		来場した人に興味を持ってもらう工夫が必要ではありませんか。専門用語、表記用語などは、極力なくすべきでしょう。
10		国の森林環境税が動き始めましたので、神奈川県としての先進的取り組みが国の事業に生かされること。
11		県民の税負担について、より良い方向で検討されるよう期待します。

平成29年度 市町村別事業実績一覧(市町村事業)

(単位:千円)

区分	事業費					
		5. 地域水源林(ha)	6. 河川・水路	7. 地下水保全	8. 生排処理施設	
小田原市	138,590	私有林確保 43.01 私有林整備 32.94 市町村有林整備 0.51	効果検証 工事(継続) 1箇所		個人設置型浄化槽 8基	
		88,800	44,800	-	4,990	
相模原市	627,802	私有林確保 11.53 私有林整備 - 市町村有林整備 10.70	効果検証 事前調査 工事(継続) 1箇所		市町村設置型浄化槽 129基 下水道整備 21ha	
		26,100	1,566		600,136	
秦野市	153,499	私有林確保 1.91 私有林整備 62.02 市町村有林整備 -		地下水汚染対策 地下水かん養対策 地下水モニタリング	個人設置型浄化槽 1基	
		83,200	-	69,700	599	
厚木市	58,016	私有林確保 3.07 私有林整備 3.07 市町村有林整備 -	効果検証 事前調査		個人設置型浄化槽 47基	
		5,400	22,200		30,416	
伊勢原市	5,800	私有林確保 3.64 私有林整備 4.08 市町村有林整備 1.79	効果検証			
		5,500	300		-	
海老名市	-	-	-	-	-	
座間市	16,800			地下水かん養対策 地下水モニタリング		
		-	-	16,800	-	
南足柄市	139,143	私有林確保 26.55 私有林整備 17.51 市町村有林整備 0.52	効果検証 工事(継続) 1箇所	地下水モニタリング	個人設置型浄化槽 2基	
		43,900	93,200	800	1,243	
寒川町	-	-	-	-	-	
中井町	11,300	私有林確保 - 私有林整備 - 市町村有林整備 -		地下水モニタリング		
		10,000		1,300		
大井町	13,800	私有林確保 9.16 私有林整備 4.20 市町村有林整備 -		地下水モニタリング		
		12,900	-	900	-	
松田町	62,800	私有林確保 - 私有林整備 3.04 市町村有林整備 13.00	工事(継続) 1箇所	地下水モニタリング		
		14,200	48,000	600	-	
山北町	36,079	私有林確保 - 私有林整備 1.94 市町村有林整備 1.51	工事(継続) 1箇所	地下水モニタリング	市町村設置型浄化槽 3基 個人設置型浄化槽 2基	
		12,700	16,300	900	6,179	
開成町	500			地下水モニタリング		
		-	-	500	-	
箱根町	100,200	私有林確保 6.59 私有林整備 9.92 市町村有林整備 62.20		地下水モニタリング		
		87,800		12,400		
真鶴町	6,900	私有林確保 - 私有林整備 - 市町村有林整備 2.84		地下水モニタリング		
		1,000		5,900		
湯河原町	48,200	私有林確保 23.40 私有林整備 9.69 市町村有林整備 6.75				
		48,200		-		
愛川町	41,200	私有林確保 21.39 私有林整備 13.49 市町村有林整備 2.35				
		41,200	-	-	-	
清川村	85,500	私有林確保 0.21 私有林整備 39.02 市町村有林整備 15.42				
		85,500	-		-	
合計	1,546,129	私有林確保 150 私有林整備 201 市町村有林整備 118	河川水路整備 5箇所	地下水かん養対策 地下水汚染対策 地下水モニタリング	市町村設置型浄化槽 132基 個人設置型浄化槽 60基 下水道整備 21ha	
		566,400	226,366	109,800	643,563	
		対象 18 市町村 実施 18 市町村	対象 19 市町村 実施 15 市町村	対象 15 市町村 実施 7 市町	対象 13 市町 実施 10 市町	対象 14 市町村 実施 6 市町

※1 □ の部分で金額等の記載のない箇所は、特別対策事業の対象となっているが、事業を行っていないもの

※2 ■ の部分は、特別対策事業の対象となっていない市町村

※3 表中の事業内容については、主な事業について記載

※4 河川水路における直接浄化対策は、河川水路整備(生態系に配慮した整備)と併せて行うため、河川水路整備箇所数を再掲

印刷用ページを表示 掲載日：2018年6月6日
水源環境保全・再生かながわ県民会議第5期委員名簿

水源環境保全・再生かながわ県民会議第5期委員名簿
 任期：平成29年4月1日から平成31年3月31日

(区分ごとに50音順)

	氏名	役職等
有識者	太田 隆之	静岡大学人文社会科学部 准教授
	大沼 あゆみ	慶應義塾大学経済学部 教授 【副座長】
	岡田 久子	明治大学農学部 講師
	鈴木 雅一	東京大学 名誉教授 【座長】
	谷本 有美子	神奈川県地方自治研究センター 研究員
	土屋 俊幸	東京農工大学大学院農学研究院 教授
	羽澄 俊裕	東京農工大学農学部 特任教授
	林 義亮	神奈川新聞社 取締役論説主幹
	吉村 千洋	東京工業大学環境・社会理工学院 准教授
関係団体	青砥 航次	特定非営利活動法人神奈川県自然保護協会 副理事長
	倉橋 満知子	桂川・相模川流域協議会 代表幹事
	高橋 征人	酒匂川水系保全協議会 副会長
	服部 俊明	神奈川県森林組合連合会 代表理事専務
	増田 清美	神奈川県政モニターOB会 副会長
公募	相川 健志	横浜・川崎地域
	佐藤 恭平	
	豊田 直之	
	小笠原 多加子	県央・湘南地域
	高橋 貴子	
	滝澤 洋子	
	西 寿子	
	上宮田 幸恵	県西地域
	川島 範子	
	森本 正信	

[このページの先読へもどる](#)

[いいね ツイート](#)

このページに関するお問い合わせ先

環境農政局 緑政部水源環境保全課
[環境農政局緑政部水源環境保全課へのお問い合わせフォーム](#)

このページの所管所属は環境農政局 緑政部水源環境保全課です。

県の重点施策

- ヘルスケア・ニューフロンティア
- MEBYO 未病の改善
- ROBOT TOWN SAGAMI さがみロボット産業特区
- 県西地域活性化プロジェクト
- かながわスマートエネルギー計画
- 東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
- ラグビーワールドカップ2019™
- MAGNET マケガル
- とどろかえる

印刷用ページを表示 掲載日：2018年4月1日

総合的な評価（中間評価）報告書

水源環境保全税を活用した「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」は、第2期計画が満了となる平成28年度に10年の節目を迎えることとなります。

施策の点検・評価の役割を担う水源環境保全・再生かながわ県民会議では、これまでの成果と課題を一旦総括し、次の10年の取組に繋げるため、平成27年8月に施策の総合的な評価（中間評価）報告書を取りまとめました。

評価結果の全体総括

「施策全体の最終的アウトカムは、評価の時間軸を10年から20年とする長期的評価であることから、現時点での評価は暫定的なものです。これまでのところ、水源保全地域において水循環機能の保全・再生が図られていく過程にあると考えられます。」（第2部III（ローマ数字の3）1「評価結果の全体総括」より抜粋）

[このページの先頭へ戻る](#)

総合的な評価（中間評価）報告書

表紙・目次・はじめに[PDFファイル/177KB]

第1部 かながわの水源

I（ローマ数字の1） かながわの水源の今[PDFファイル/6.77MB]

II（ローマ数字の2） 神奈川県の水源地とその課題[PDFファイル/98KB]

第2部 水源環境保全税の導入と施策展開

I（ローマ数字の1） 水源環境保全税の導入と施策展開[PDFファイル/3.05MB]

II（ローマ数字の2） 施策の評価方法[PDFファイル/472KB]

III（ローマ数字の3） 評価結果

1 評価結果の全体総括[PDFファイル/5.29MB]

2 各事業の量的指標（アウトプット）、質的指標（1次的アウトカム）による評価総括[PDFファイル/1.33MB]

事業評価シート（1から5）[PDFファイル/5.26MB]

事業評価シート（6から12）[PDFファイル/5.96MB]

3 各事業の統合的資料（2次的アウトカム）による評価[PDFファイル/2.68MB]

4 水源保全地域の経済的価値の評価（水源環境保全・再生施策の経済評価）[PDFファイル/477KB]

5 施策全体の目的（最終アウトカム）による評価[PDFファイル/186KB]

第3部 今後に向けて[PDFファイル/411KB]

[このページの先頭へ戻る](#)

かながわ水源環境保全・再生 これまでの取組み



第25回県民フォーラム（平成27年7月26日）で配布した水源環境保全・再生施策の評価資料です。

1. [かながわ水源環境保全・再生（表紙から16ページ）](#)（PDF：9,177KB）
2. [かながわ水源環境保全・再生（17ページから32ページ）](#)（PDF：9,992KB）
3. [かながわ水源環境保全・再生（33ページから47ページ）](#)（PDF：9,983KB）

[このページの先頭へもどる](#)

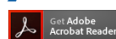
[いいね](#) [ツイート](#)

このページに関するお問い合わせ先

環境農政局 緑政部水源環境保全課

[環境農政局緑政部水源環境保全課へのお問い合わせフォーム](#)

このページの所管所属は環境農政局 緑政部水源環境保全課です。



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、[バナーのリンク先から無料ダウンロード](#)してください。

県の重点施策

ヘルスケア・ニューフロンティア

HEALTHCARE NEW FRONTIER

ME-BYO 未病の改善

ROBOT TOWN SAGAMI

さがみロボット産業特区

ROZUKA PRODUCTIONS

県産地域活性化プロジェクト

かながわスマートエネルギー計画

KANAGAWA SMART ENERGY

東京2020

オリンピック・パラリンピック競技大会

ラグビーワールドカップ2019™

MAGCUL マグカル

MAGNET CULTURE PROJECT KANAGAWA

とほろとほろ